

KillTest

품질은 좋고 서비스도 더욱 좋습니다



덤프

<http://www.killtest.kr>

우리는 고객에게 년 동안 무상업데이트 서비스를 제공합니다

Exam : **000-374J**

Title : IBM WebSphere MQ V7.0,
System Administration

Version : Demo

1.レガシーアプリケーションは、INV キューにメッセージを送信する MQPUT を使用している。JMS アプリケーションの数は、トピック Inventory/CurrentItems をサブスクライブすることにより、これらのメッセージを受信できるよう、下記の MQSC コマンドセットが正常にキューマネージャーを設定するのはどれか？

- A.DEFINE TOPIC(INV_TOPIC) +
TOPICSTR(Inventory/CurrentItems)
DEFINE QALIAS(INV) TARGET(INV_TOPIC) TARGTYPE(TOPIC)
- B.DEFINE TOPIC(INV_TOPIC) +
TOPICSTR(Inventory/CurrentItems)
DEFINE TALIAS(INV) TARGET(INV_TOPIC) TARGTYPE(TOPIC)
- C.DEFINE TOPIC (INV_TOPIC) +
TOPICSTR(Inventory/CurrentItems) QALIAS(INV)
- D.DEFINE QALIAS(INV) TARGET(Inventory/CurrentItems) +
TARGTYPE(TOPIC)

Answer: A

2.管理者は、AIX 上のキューマネージャーQMA 起動時にチャネルイニシエータープロセスの開始を防ぎたい。どのアクション（複数可）がこれを可能にするのだろうか.?

- A.strmqm ns QMA を使用してキューマネージャーを再起動
- B.strmqm chinit no QMA を使用してキューマネージャーを再起動
- C.コマンド ALTERQMGRSCHINIT（DISABLED）を発行し、strmqmQMA を使用してキューマネージャーを再起動
- D.QMA の qm.ini ファイルを編集し CHANNELS スタンザで ChannellInitiator=No のエントリを追加して、strmqmQMA を使用してキューマネージャーを再起動

Answer: A

3.管理者は、リモートキューマネージャー間の通信に使用する QM1 のためのキューマネージャーのエイリアスを作成するよう依頼されている。どの MQSC コマンドで、キューマネージャーのエイリアスが作成可能か？

- A.DEF QR(QM1.ALIAS) RNAME('Q1') RQMNAME(' ') XMITQ(QM1)
- B.DEF QR(QM1.ALIAS) RNAME(' ') RQMNAME(QM1) XMITQ(QM1)
- C.DEF QR(QM1.ALIAS) RNAME('Q1') RQMNAME(QM1) XMITQ(' ')
- D.DEF QL(QM1.ALIAS) RQMNAME(QM1)

Answer: B

4.管理者は、2つのシステム上で次の MQ オブジェクトを作成している。

```
SYSTEM A
crtmqm -C "VEGGIE QUEUE MANAGER" -LL -Q -D POTATO VEGGIE
DEFINE QR(APPLE) RQMNAME(FRUIT) RNAME(PEACH)
DEFINE QL(DLQ)
DEFINE QL(POTATO) USAGE(XMITQ)
DEF CHL('VEGGIE. FRUIT') CHLTYPE(SDR) TRPTYPE(TCP) +
CONNNAME('9.84.100.7(1414)') XMITQ('POTATO')
SYSTEM B
```

```
crtmqm -C "FRUIT QUEUE MANAGER" -LL -Q -D GRAPE FRUIT
DEFINE QL(GRAPE) USAGE(XMITQ)
DEFINE QL(PEACH)
DEF CHL('VEGGIE. FRUIT') CHLTYPE(RCVR) TRPTYPE(TCP)
```

アプリケーションは、キューマネージャーの VEGGIE に接続し、キュー Apple にメッセージを入れる。それは送信側のチャネルによって拾われる前にメッセージはどのキューに配信されるか？

- A.POTATO
- B.APPLE
- C.GRAPE
- D.PEACH

Answer: A

5.z/OS 上でデプロイされたアプリケーションは、頻繁に異常終了を引き起こしていた。管理者が問題を分析するために、IPCS ダンプコンポーネントパネルから次のどのオプションを使用できるか？

- A.CSQWDMP
- B.ASMCHECK
- C.DIVDATA
- D.DAEDATA

Answer: A

6. 4 つの事前定義されたメッセージの種類はどれか？

- A.リクエスト、レスポンス、パブリケーション、データグラム
- B.パブリケーション、サブスクリプション、リクエスト、レスポンス
- C.リクエスト、返信、レポート、データグラム
- D.リクエスト、ブロードキャスト、確認応答、レスポンス

Answer: C

7.IBMWebSphereMQ の機能は、どんなに堅牢なメッセージトランスポートを提供しているか？

- A.データの整合性、セキュリティ、並列処理
- B.非同期配信、かつて一度だけの配信、永続的なメッセージング
- C.時間の独立性、無重複配信、同期処理
- D.確実な配信、アプリケーションの並列処理、時間に依存するアプリケーション

Answer: B

8.次のうちどれが IBMWebSphereMQV7.0 での JavaMessageService プロバイダを実装するうえでパフォーマンスに効果的か？

- A.先読み
- B.C/C++で書かれたチャネル出口のサポート
- C.非同期プット
- D.キューマネージャーによって実行されたメッセージの選択
- E.IBMWebSphereMQ メッセージのすべての MQMD フィールドにアクセスする機能。

Answer: ACD

9.次のうち IBMWebSphereMQ を経由して通信するアプリケーションについて、どれが正しいか？

IBMWebSphereMQ アプリケーションは、合意する必要がある。

- A. それらがプラットフォーム上で実行されていること
- B. 使用されるキューの名前
- C. 指定した期間内に送信されたメッセージの最大数
- D. 変換するメッセージデータのレイアウト
- E. 使用するネットワークプロトコル

Answer: BD

10. UNIX 上の IBMWebSphereMQV5.3 を実行している企業が IBMWebSphereMQV7.0 にアップグレードする。管理者は、移行後すぐに何を行うと考えられるか？

- A. MQSeries のサービスを開始
- B. 同時にキューマネージャーとリスナーを開始
- C. リスナーを開始する前に、キューマネージャーを開始
- D. キューマネージャーを開始する前にリスナーを開始

Answer: C

11. WebSphereMQ エクスプローラーを使用している管理者は、それが移行された後、PROD のキューマネージャーに接続できなくなった。そして SYSTEM.MQEXPLORER.REPLY.MODEL が定義されていない旨エラーメッセージを受信する。既存のシステムオブジェクトをリフレッシュし、この問題を解決するために、どのコマンドが必要か？

- A. strmqm c PROD
- B. strmqm a PROD
- C. strmqm ss PROD
- D. strmqm si PROD

Answer: A

12. IBM の WebSphereMQ のキュー共有グループ(queue-sharinggroup)を使用する利点は何か？

- A. ワークロードバランシング、リモート管理
- B. パフォーマンスの向上、監視の容易さ
- C. スケーラビリティ、エンドツーエンドのセキュリティ、データの整合性
- D. スケーラビリティ、高可用性、ワークロードバランシング

Answer: D

13. 正しく i5/OS 上の IBMWebSphereMQ を実行するために、どのユーザプロファイル2つが必須か？

- A. QMQM, QMQMADM
- B. QMQMADIM, mqm
- C. mqm, QMQM
- D. mqm, MUSR_MQADMIN

Answer: A

14. Windows 上の IBMWebSphereMQV7.0 を管理するための MQExplorer を使用する前提条件で、Eclipse はどのバージョンが必要か？

- A. 3.3
- B. 3.2

C.3.1

D.3.0

Answer: A

15.Solaris プラットフォームで、IBM の WebSphereMQV7.0 がトランザクションに対応しているリソースマネージャとしてサポートされているデータベースはどれか？

A.Oracle, Derby, My SQL

B.DB2, Derby, Teradata

C.DB2, Oracle, Informix, Sybase

D.DB2, SQL Server, Sybase, Informix

Answer: C